



明治はひとつ

国分寺地域支部 新年会開催

国分寺地域支部新年会が、1月25日（土）、昨年と同じ会場、国分寺駅南口駅前「北海道」で開催されました。今年は、皆様の足の便等を考慮しまして、開催時間を午後から午前に変更しまして、11時30分～13時30分としました。参加者は、30名と、昨年とほぼ同数の皆様にご参加頂きました。恒例の「ビンゴゲーム」には、皆様から多数の景品をご寄付いただきましたことを、深く感謝申し上げます。今回、1年振りにお会いされた方もいると思いますが、国分寺地域支部主催の行事も、少なくなっており、新年会や定時総会時の懇親会等にお出かけいただき、絆を深めて頂きたく存じます。



開会挨拶
支部長 高久みどり



乾杯音頭
相談役 堀田清則



明治大学 校友会

国分寺地域支部 令和7年新年会



ビンゴゲームの景品 ご寄付に、深く感謝申し上げます。



ビンゴ司会
納谷菊夫・神山健司・坂庭香予子



司会 望月啓介



挨拶 本橋巧



新年会幹事 納谷菊夫・神山健司・望月啓介
坂庭香予子・堅山富美子



麻雀教室 年間表彰式



挨拶 村山英男



校歌斉唱 徳田隆洋



挨拶 宮原修司



師走の風物詩が思い出の彼方に～

主催：国立地域支部

共催：国分寺地域支部

多摩支部会報
第 65 号にも掲載

収穫祭をもって終演に

1996年（平成8年）11月17日（日）にスタートした国立地域支部の「大餅つき大会」が、2024年（令和6年）12月15日（日）をもって、28年の歴史に終わりを告げることになりました。国分寺地域支部との共催、近隣地域支部の皆さんへのお誘い、そして2015年（平成27年）からは、明大祭実行委員会の現役学生・明大相撲部員の応援も加わり、まさに「明治はひとつ！」とも言える一大イベントになりました。2016年12月18日（日）には、総勢93名、最多の参加がありました。

雲ひとつない空の下、一面、菜の花が咲き乱れる「国立・城山さとのいえ」、そこには、餅つきの杵の音が響きわたり、搗き立ての絡み餅を頬張る多くの姿がありました。28年に亘るこの活動を支えていただいた、沼尻さん、沼崎さん、柳澤さんはじめ国立地域支部の皆さん、国分寺地域支部の皆さん、そして応援くださいました明治大学の現役の学生さん、加えてご参加頂きました近隣地域支部の皆さんに改めて、感謝申し上げます。この活動が、皆さんの思い出の片隅に残り続けることを願って、「ありがとうございます」と記します。なお、最後の活動になりました12月15日（日）の「収穫祭」には、6地域支部（国立、国分寺、小平、日野、多摩市、あきる野）の皆さん、明大祭実行委員会の現役学生6名の総勢36名の皆さんにご参加頂きました。



記・写真：佐々木一郎



寄稿

国分寺が私の地元

村山 英男（昭 63・工）



川崎で生まれ、私の母校です



国分寺は今、地元という存在です



ゴルフは、大好きです

昨年末に父を亡くし、年末から、頻繁に実家のある川崎に帰り、遺品整理等を行なってきました。そこで、ふと、はじめて、自分の帰る場所がなくなること寂しさを覚えました。社会人になって、間も無く、大阪に転勤するまで、生まれてから暮らしてきた地元、川崎には、もう、帰れないのだと。

仕事では、今年、定年を迎えます。昨年までは、会社を辞め、一週間にアルバイトを4日して、1日はゴルフに行こうと夢を抱いていました。

今は、色々な環境の変化に伴い、仕事を延長してみようかと考えています。

仕事の中で、少し未来の医療について、病院の先生と話をすることがありました。その中で、印象に残ったものをご紹介します。

それは、メタバース（仮想空間）において、患者さんも先生もアバター（各個人の化身）になり、会話をし、先生が患者さんを診断するというお話です。

患者さん側のメリットは、病院に行かなくても良いとか、好きな時間に診察を受けられるとかです。また、先生側も時間の束縛を受けず、難しい告知等を、患者さんに直接伝える必要がないところがメリットになります。

ゲームの中の世界と感じられたかもしれませんが、今の技術で、実現できるところまで来ています。技術革新でこのように便利になる一方、人と人との繋がりが希薄になるという課題も同時に生まれます。

国分寺に住んで23年、出生地の川崎よりも永く住み続けることになり、漸く、地元と呼べるようになったところです。

この街は、都会と田舎の狭間で住みやすく、人の温かさも伝わってきます。

また、明治大学も、人間臭さを持つ、唯一無二な大学だと思っています。

残りの人生は、地元、国分寺という環境で、明治大学の文化を継承した者として、人と人との繋がりが密になる現実空間を築くことに何か役に立てればと考えています。

拙い文章を最後までお読みいただきありがとうございます。

因みに、亡くなった父も明治大学商学部出身でした。



写真：村山英男



❖多摩支部 地域間交流プロジェクト❖

昭島・国立・青梅・清瀬支部（2026 第23回多摩支部総会担当予定）外、近隣支部校友と交流します！

♪小林学芸員（校友）の解説で学ぶ・歩行距離4～5kmのゆったりコース♪

一 国指定史跡 武蔵国分寺跡 附東山道武蔵路跡 ほかー

- 集合** JR 西国分寺駅改札（駅ビル・レガ北付近） 午前9時（雨天決行・荒天中止）
- ▼国指定史跡 東山道武蔵路跡 ≪幅12mで一直線の古代道路跡≫
 - ↓9:41 ぶんバス・国分寺市役所⇒史跡武蔵国分寺跡へ（バス代200円・ICカード可）
 - ▼国指定史跡 武蔵国分寺跡 ≪僧寺跡 南門地区・金堂ほか伽藍中枢部地区・七重塔跡ほか≫
 - ▼史跡の駅（休憩・おみやげ）、市立おたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館 §トイレ
 - ▼国指定史跡 武蔵国分寺跡 ≪七重塔跡≫
 - ▼東京都指定名勝 真姿の池湧水群（全国名水百選 お鷹の道・真姿の池湧水群）
 - ▼市指定重要文化財 国分寺楼門・万葉庭園・仁王門・薬師堂 ≪江戸時代の歴史的建造物≫
 - ▼国指定重要文化財 国分寺薬師如来坐像 ≪平安時代の彫刻、年に一度の御開帳≫
 - ↓ぶんバス・国分寺市役所⇒国分寺駅西へ（バス代200円・ICカード可）
 - ▼国指定名勝 東京都立殿ヶ谷戸庭園 ≪旧岩崎家別邸≫ §トイレ
 - ▼殿ヶ谷戸庭園内の紅葉亭（数寄屋造り風の茶室）にて、お庭を眺めながら **会食**
- 解散** JR 国分寺駅南口付近 午後2時頃 ※解散後、駅周辺にて懇親会



—諸国最大級の国分寺伽藍を実感してみませんか—

在りし日の国分寺を偲ぶことができる唯一の遺品である木造薬師如来坐像（国分寺薬師堂）の御開帳に合わせた7年ぶりの探訪となります。

僧寺の伽藍中枢部や、中門・南門周辺の整備工事が一段落して、南門近くに地域コミュニティバス（ぶんバス）万葉・けやきルートバス停も置かれ、北方の東山道武蔵路沿いに国分寺市役所が移転してきました。

ぜひこの機会に、自然豊かな国分寺の歴史に触れて、ゆったりと、お楽しみください。

—案内人 小林信夫（S49文・史学地理学科・考古学専攻）

- 定員** 20名（家族・友人・知人 大歓迎） **締切** 9月30日（お早目にお申し込みください）
- 費用** 500円（資料代、施設利用料）
- 支払** 当日、集めます。 ※バス代、昼食代（実費）は、各自ご負担をお願いします。
- 申込** 国分寺支部幹事長 佐々木一郎（昭44商） 042(324)9250／090(4825)0530 まで
- ① 氏名(ヨミガナ) ② 携帯番号 ③ 支部名 ④ 同伴者名(間柄) ⑤ 懇親会 ⑥ 連絡事項

受付口 /

第16回 歴史探訪（2025）参加申込書

最寄りの国分寺支部役員にお渡しください
（佐々木幹事長に集約してください）

- ① 氏名(ヨミガナ) () ② 携帯番号
- ③ 支部名 ・ 国分寺 ・ 支部 ④ 同伴者名(間柄) ()
- ⑤ 懇親会 ・ 参加 ・ 不参加 ⑥ 連絡事項